



PRESS RELEASE

2021年10月1日

=====
自然と信仰、歴史と文化が息づく地 和歌山県『紀南』地域を舞台にした芸術祭
「紀南アートウィーク 2021」の開催に関する記者説明会
=====

報道関係各位

紀南アートウィーク実行委員会は、2021年11月18日（木）から11月28日（日）に、和歌山県紀南地方を舞台とする国際芸術祭「紀南アートウィーク 2021」を開催いたします。

本開催に向け、世界で活躍する現代アーティストの作品を紀南地域に展示すべく、キュレーションを進めてきた結果、カンヌ映画祭最高賞パルムドール受賞のアピチャットポン・ウィーラセタクン（Apichatpong Weerasethakul、タイ）、今秋豊田市美術館での大規模個展が予定されているホー・ツーニエン（Ho Tzu Nyen、シンガポール）、2022年ドクメンタ15の芸術監督を務めるルワンルパの代表アデ・ダルマワン（Ade Darmawan、インドネシア）、日本を代表する現代音楽家の一柳 慧など、世界的にも注目を集めるアジア地域のトップアーティスト達から、新進気鋭の若手アーティスト、さらには地元和歌山に縁の深いアーティストまで、様々な作品の展示が決定してまいりました。

つきましては、報道関係者の皆さまを対象に、展示アーティストのご紹介を中心とした説明会を開催しますので、下記の通りご案内申し上げます。

この記者説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加人数を制限したオフライン（会場での視聴）と、オンライン（ライブ配信を視聴）で同時開催します。オフラインとオンラインともに、事前の取材申し込みが必要ですので、下記の案内に沿ってお申し込みくださいますようお願いいたします。（配信は後日アーカイブ動画としてHP等にアップ予定です）

なお、記者説明会場として、今開催の展示会場でもある川久ミュージアム（ホテル川久）のインペリアルラウンジを使用。「世界の数寄屋」建築から、紀南地方の海を借景にお届けいたします。オフラインの席数には限りがありますので、原則先着順で受け付けをさせていただきます。

記

■日時：

2021年10月8日（金）午前11～12時

■会場：

川久ミュージアム/ホテル川久内 インペリアルラウンジ ※オンライン同時配信

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3745

URL：<https://www.museum-kawakyu.jp/>

■出席者：

紀南アートウィーク 総合プロデューサー 藪本雄登

紀南アートウィーク アーティスティックディレクター 宮津大輔

■内容：

- 1) 開催概要説明
- 2) 出展アーティスト発表
- 3) クラウドファンディングのご紹介
- 4) 関連プロジェクトのご紹介
- 5) 質疑応答

※会場の都合上、オフラインの会場参加者数は、先着 10 名とさせていただきます。

=====

記者説明会参加ご希望の場合は 10 月 7 日（木）AM12:00 までに以下フォーマットにて
info@kinan-art.jp までご連絡ください。

=====

<紀南アートウィーク 2021 オンライン記者発表会 参加フォーマット>

参加方法をお選び下さい。

オフライン参加（川久ミュージアムにご来場。先着 10 名）：後日、会場案内を送付致します。

オンライン参加（オンライン配信をご視聴）：後日、Zoom 招待 URL を送付致します。

お名前：

ご所属・媒体名：

ご連絡先：

記者会見についてのご質問など：

<本件に関する問い合わせ先>

紀南アートウィーク事務局（担当：下田） 〒646-0029 和歌山県田辺市東陽 14 番 B-210 号

TEL : 090-3710-3866

E-mail : info@kinan-art.jp

HP : <https://kinan-art.jp/>

自然と信仰、歴史と文化が息づく場所 和歌山県『紀南』地域を舞台にした芸術祭
「紀南アートウィーク 2021」

<プロジェクト概要>

和歌山県紀南地域/牟婁郡を舞台とした国際芸術祭。2021年11月18日(木)-11月28日(日)に、独自の歴史・文化を持つ様々な場所で、紀南地域ゆかりのアーティスト、国際的なアーティストの作品を展示します。その他、魅力溢れる地域の方々との対談や、専門家を交えたシンポジウム等の関連プロジェクト多数。

日程：2021年11月18日(木)～11月28日(日) 11日間

時間：各展示会場に準ずる

会場：和歌山県紀南地域 田辺市・白浜町内各所 ※複数個所

入場料：入場無料 ※会場によって別途入場料が必要な場合がございます

主催：紀南アートウィーク実行委員会

(総合プロデューサー：藪本 雄登、アーティストックディレクター：宮津 大輔)

共催：株式会社南紀白浜エアポート

後援：和歌山県、田辺市、白浜町

協賛：アドベンチャーワールド、株式会社 Ultimate Life、株式会社紀陽銀行 白浜支店、紀陽石油株式会社、株式会社古座 MORI、五代庵、佐藤生空法律事務所、株式会社高垣工務店、株式会社竹千代、ナカト産業株式会社、株式会社濱田、堀河屋野村、まつさか農園、まなべ石油販売、株式会社山長商店、株式会社モリカワ、やぶもと設備

協力：アドベンチャーワールド、川久ミュージアム、高山寺、田辺駅前商店街振興組合 南方熊楠顕彰会、アウラ現代藝術振興財団、Artport 株式会社、株式会社パラドックス、TETAU 事業共同組合、NPO 法人 ZESDA、coamu creative

メディアパートナー：紀南 Good、KINACO、美術屋・百兵衛、和歌山駅前ビジョン

<本件に関する問い合わせ先>

紀南アートウィーク事務局 (担当：下田) 〒646-0029 和歌山県田辺市東陽 14 番 B-210 号

TEL : 090-3710-3866

E-mail : info@kinan-art.jp

HP : <https://kinan-art.jp/>

総合プロデューサー 藪本 雄登 (やぶもと ゆうと)



和歌山県白浜町出身
西富田小学校、富田中学校、田辺高校出身
One Asia Lawyers 共同創業者、アウラ現代藝術振興財団 代表、
Artport 株式会社 代表
藪本の先祖は、熊野古道・中辺路の地に眠っており、母はアドベンチャーワールドで初代女性のシャチの調教師を務めたルーツがある。2011年に One Asia Lawyers の前身となる JBL メコングループを創業。十数年に渡り、カンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ等に居住し、業務の傍ら、各地のアーティスト、キュレーター、アートコレクティブ等への助成や展示会の支援を行っている。現在、アジア太平洋地域の神話、伝説、寓話や民俗等に関心を持ち、人類学とアートについて研究を行っている。その中でも、祖先が眠る熊野地域をフィールドに持ちながら、ゾミア、高地文明やアニミズム等といった事項について、調査研究を行っている。

主な展覧会として、「水の越境者（ゾーミ）たち-メコン地域の現代アート-」展（大阪）、「Silence is Golden」展（ミャンマー）、「Abstraction of Breathing」展（ミャンマー）等がある。

アーティストティックディレクター／芸術監督 宮津 大輔 (みやつ だいすけ)



1963年東京都生まれ。明治学院大学経済学部商学科卒業。京都造形芸術大学大学院芸術研究科修士課程修了。現在は、横浜美術大学学長、森美術館理事等の要職を務める。主な研究領域はアートと経済を中心とした社会との関係性。世界的な現代アート作品のコレクターとしても知られる。一般企業に勤めながら、収集した400点超のコレクションや、アーティストと共同で建設した自宅は国内外で広く紹介されている。また、美術品の修復保存に関する造詣も深い。

文化庁「現代美術の海外発信に関する検討会議」、「羽田オリンピック・パラリンピック レガシー推進タスクフォース」の委員や「Asian Art Award 2017」「ART FUTURE PRIZE・亞州新星奨 2019」の審査員などを歴任。NHK 総合テレビ「クローズアップ現代+」「NHK ニュース おはよう日本」からバラエティ番組までメディアでも広く活躍する一方で、国内はもとよりアジア各国での講演多数。主な著書に「新型コロナはアートをどう変えるか」「アート×テクノロジーの時代」などがある。

<本件に関する問い合わせ先>

紀南アートウィーク事務局（担当：下田） 〒646-0029 和歌山県田辺市東陽 14 番 B-210 号
TEL : 090-3710-3866 E-mail : info@kinan-art.jp HP : <https://kinan-art.jp/>